

総合交通メールマガジン

第73号

平成26年10月30日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

総合交通メールマガジンとは

Topics

- ◆天ぷら油で走る「サンクスネイチャーバス」！
（特定非営利活動法人 サンクスネイチャーバスを走らす会）
- ◆村山団地中央商店街の送迎自転車サービス
（村山団地中央商店街 比留間誠一）



イベント紹介

- ◆第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 宇都宮のご案内
（人と環境にやさしい交通をめざす協議会）
- ◆「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2014」のご案内
（くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会事務局）

総合交通体系グループだより

- ◆【11月25日～11月28日開催（次号詳細報告予定）】「専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修」を開催します。
（国土交通省 総合政策局 総務課）
- ◆全国幹線旅客純流動調査の紹介
（国土交通省 総合政策局 総務課）

Infomation

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み及びイベント案内募集！！
- ◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください





総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事については、執筆者が任意の協力のもてで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



Topics

◆天ぷら油で走る「サンクスネイチャーバス」！

(特定非営利活動法人 サンクスネイチャーバスを走らす会)

「サンクスネイチャーバス」は、天ぷら油の廃食用油燃料で走行するコミュニティバスとして、平成9年4月に自由が丘で開始されたプロジェクトです。バスの通算乗車数は100万人を突破、目黒区共同事業にも指定されており、今では自由が丘の街にはなくてはならない存在となりました。

現在は2台のバス、14箇所のバス停、2つのルート（八雲ルート、駒沢公園ルート）の体制で、水曜日以外の毎日運行されています。企業、お店などのサポーター会員（33者）に加え、協賛会社もラッピング広告、ステッカー広告の面でご支援頂いています。

サンクスネイチャーバスの運行により、外出を控えていたお年寄りが買い物に出かけ、子供は習い事に行くなど、新たな移動を引き起こし、地域における交流を促進することにも寄与しています。

当該プロジェクトは、地域への感謝を込めて有志が集まって始めた活動ですが、まだ道半ばです。単にコミュニティバスを運行するだけではなく、地域が発展し、住民が居住し、訪れる人が心地良さを感じる事が重要です。“サンクス・ネイチャー”（自然さん・有難う）を実践してこそ、このプロジェクトは完成すると考えています。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1411thanks.pdf>

《サンクスネイチャーバスのウェブサイトはこちら↓》

<http://www.thanksnaturebus.org/>





◆村山団地中央商店街の送迎自転車サービス

(村山団地中央商店街 比留間誠一)

東京都武蔵村山市の村山団地は、昭和41年に完成した総数5,260戸のマンモス団地ですが、建て替えに伴う住民の移住などにより、高齢化が進んでいます。(平成26年の高齢化率は約47%)また、移住後の高層住宅は商店街から少し遠く、高齢者の買い物頻度が減少していました。

こうした中で、村山団地中央商店街では、「ペロタクシー」(三輪の乗客2人の自転車)を用いて、歩くのが少し不自由な方、高齢者で買物の荷物が重くなった方などを自宅近くまで送迎するサービス(送迎自転車サービス)を平成21年10月に開始した。送迎自転車の運転手はボランティアと商店主(計5人)、ステーションには管理人が常勤し、午前10時~午前12時と午後1時~午後3時を常時送迎の時間としています。(必要に応じて、午後5時まで対応、土日祝日・雨天日は休み)

平成26年7月末までに延べ11,450人(1日当たり10人~20人)を送迎しており、利用者は年々増加傾向にあります。また、商店主(運転手)がお客様の行動が心配になったり、つれあいが入院したりして心配を感じた場合、市の包括支援センターへの連絡なども実施しており、高齢者の「見守り」としても機能しています。

この事業は、「送迎自転車」、「車の保管場所」、「管理人」、「運転手」さえあれば、運営できるものです。また、運営費もそれほどかからないため、他の地域においても、地域のモビリティ確保に寄与する可能性のあるスキームです。

今後も、個々の商店が活性化のために日々努力を重ね、「送迎自転車」などを通じて地域に貢献することを通じて、地域が活性化するという相乗効果に繋げていきたいと考えています。

《記事はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1411murayama.pdf>



イベント紹介

◆第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in 宇都宮のご案内

(人と環境にやさしい交通をめざす協議会)

平成17年に、第1回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」が開催されてから9年が経過しました。その後、少子高齢化の進展、地方都市における中心市街地の衰退、地域公共交通サービスの低下などの問題が深刻化するなか、地域活性化への取り組みや健





康で安全な暮らしの確保については、以前にも増して都市の重要課題となっています。

宇都宮市では、平成28年のLRTの着工を目指して、新たな公共交通ネットワークの構築に取り組んでおり、これらの課題解決に向けた議論の場を設定することは大きな意義があると考えられます。そこで、11月29日（土）に第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」を開催することとなりました。（詳細は以下を参照）

※ 市民フォーラムと交流会は、事前の申し込みが必要です。また、翌日（11月30日（日））にJR烏山線「アキュム」の体験乗車やスポーツバイクで市内を巡る体験ができますが、こちらも事前の申し込みが必要です。詳しくは、「雷都ルールとちぎ」のウェブサイトをご覧ください。

《第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」のご案内はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1411utsunomiya.pdf>

《「雷都ルールとちぎ」のウェブサイトはこちら↓》

<http://www.t-lrt.com/>

◆「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2014」のご案内

（くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会事務局）

少子高齢化が進む中で、移動の手段を持たず、命を守る通院や日常の買い物に困難を抱える人々が全国で増え続けています。この問題を解決するために、行政、研究者、福祉・介護・医療の従事者、バス・タクシー事業者、NPOなど、多くの関係者が集まり、地域や立場を超え、利用者・生活者の目線で「移動の問題」を本音で語り合い、お互いを知り合い、解決策のヒントを得る「気づき」の場として、「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム2014」を開催します。（詳細は以下を参照）

《第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」のご案内はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1411kurashi.pdf>

《第7回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」のウェブサイトはこちら↓》

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>



総合交通体系グループだより

◆【11月25日～11月28日開催（次号詳細報告予定）】「専門課程 総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修」を開催します。

（国土交通省 総合政策局 総務課）





標記の研修について、11月25日（火）～11月28日（金）に開催します。国の地方支分部局、地方公共団体から多くのご参加を頂き、有難う御座います。次号の総合交通メールマガジンにて、詳細を報告させていただきます。

◆全国幹線旅客純流動調査の紹介

（国土交通省 総合政策局 総務課）

全国幹線旅客純流動調査は、我が国の幹線交通機関における旅客流動の実態を定量的かつ網羅的に把握することを目的とした調査です。幹線交通機関の輸送実績を整理する他の流動調査とは異なり、個々の旅客に着目することでその旅行行動全体を捉えており、出発地・目的地、旅行目的や旅客属性が把握できることをその特色としています。

本調査は、以下のような業務に活用することが可能です。

（幹線交通関係）

- ・ 空港の路線就航可能性の検討
- ・ 新幹線開業に伴う影響予測 等

（地域交通関係）

- ・ 地域交通計画の企画立案
- ・ ターミナル施設計画（駐車場、タクシールール、レンタカーサービス等）の企画立案 等

なお、総合政策局 総務課（総合交通体系グループ）のウェブサイトでは、簡単な集計結果の概要（都道府県間流動表等）を公表するとともに、詳細データ（個表データ）が必要な場合には個別に提供しております。

《全国幹線旅客純流動調査（平成22年調査）のパンフレットはこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/common/001005632.pdf>



I n f o m a t i o n

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信





先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み及びイベント案内募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させていただきました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。（連絡先の追加でも結構です）

なお、変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 中川 敏正

TEL : 03-5253-8111（内線53-113）

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

